

# NEWS 310

Vol.59 令和5年4月号

NEWS 310（ニュース サド）は佐渡観光交流機構の会員様向けニュースレターです。佐渡観光交流機構は、会員様はじめ佐渡の観光に関わる様々な方々の意見を尊重します。ご意見、ご感想をぜひお聞かせください。また、観光 PR のための写真画像、映像、イベント情報等がございましたらご提供いただけますと幸いです。佐渡観光交流機構を今後ともよろしく願いいたします。

佐渡観光交流機構ホームページの「お知らせ」にて公開しております。（<https://sado-dmo.com/news/>）

## ◆佐藤事務局長 ご挨拶

このたび、前専務理事の祝雅之の後任として、事務局長に就任いたしました佐藤達也と申します。

私は生まれも育ちも新潟市ですが、母方の祖父母が佐渡出身という縁で15年前に移住してきました。小さいころは夏休みやお正月休みに佐渡に家族で遊びに来ていた程度で夏の透き通った海と冬の美味しい海鮮料理のイメージしか記憶にありませんでしたが、移住し生活してみると地域の方々の温かさははじめ自然や歴史、文化など豊富な資源に恵まれた島での生活に優越感を感じる今日この頃です。

ここ数年間苦しんだコロナウィルスの期間で様々な経済に大打撃を受けてしまいました。そして、コロナ禍でのライフスタイルや価値観の変化によって旅行にも新たなニーズが生まれ、それに対応すべく佐渡も「新たな旅のスタイル促進」を図っていかねばなりません。来年に向けては佐渡世界遺産登録も控えており、国内旅行者はもちろんのことインバウンド対応も含めた受け入れ環境整備など、引き続き佐渡の観光産業の発展に向けて努めていかなければいけません。

事務局長の重責を担い身が引き締まる思いではございますが、皆様からのご期待に沿えるようスタッフ一同全力を尽くしてまいりますので、前任同様のご指導ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

## ◆令和5年度 佐渡観光交流機構は以下の事業を重点的に取り組みます

1. 佐渡金銀山の世界文化遺産登録を見据え、地域一体となり、各事業者が高付加価値化によって収益拡大を図るとともに、佐渡を訪れたお客様が満足し、また訪れていただけるような観光地を創造していきます。
2. 地域独自の観光資源を活用し、地域の関係者が連携して、地域ならではの観光資源を活用したユニークメニューの提案を行い、顧客のニーズに合わせた販売を拡充します。
3. 「さどまる倶楽部アプリ」によるデータ収集・分析を行ってきましたが、DX や事業者間連携を通じ、アプリから得られたデータから地域全体のデジタルマーケティングを行うことで、地域全体で誘客施策を効率化し生産性の向上につなげ、同時に地域全体の消費額の増加と効率化を目指します。
4. 着地型旅行商品「エンジョイプラン」「さどんぼ」「サドベンチャー」といった素材やアクティビティを活用したテラーメイド型の体験プログラムの開発・販売を行うとともに、新たなニーズとして佐渡の豊富な自然を活用したアドベンチャーツーリズムや日本の縮図と言われる佐渡に根付く文化財を活用した文化ツーリズム、ワーケーション事業等を活用した佐渡ならではの体験商品を造成し、CRM による顧客分析を進め、直接ユーザーに届く仕組みづくりを進めます。

## ◆佐渡観光交流機構の職員を紹介します！

令和5年度は計**27名体制**で事業運営を行ってまいります。マーケティング事業部と旅行事業部が合併し、新たに事業本部として事業を運営してまいります。

**事務局長**：佐藤達也

### **経営企画室**

室長：山本尚代

中川拓也（佐渡市より出向）

### **総務部**

部長 佐藤達也（事務局長兼任）

副部長：栗山理恵

中島美香、野田悟

### **事業本部**

部長 小西淳（佐渡市より出向）

旅行事業担当部長：中林豊（株式会社日本旅行より出向）

副部長：ウイロビー晃恵

長島崇史、三條侑威（佐渡市より出向）、宮本直樹、鈴木恵美、斎藤未沙、井所知美、ナタリー・ホンメル、アリサ・ホルム  
（佐渡市国際交流員）

### **佐渡トレッキング協議会**

市橋弘之

### **佐渡観光情報案内所**

所長：武田雄二

水井多佳恵、西尾美栄子、兵庫花子

### **相川観光案内所**

所長：佐藤美穂

和倉友紀、中川幸恵

### **南佐渡観光案内所**

所長：金子ひとみ

葛西正司

一般社団法人 佐渡観光交流機構 〒952-0011 新潟県佐渡市両津夷 384-11

TEL：0259-23-5230 FAX：0259-23-5232 <https://www.visitsado.com/> Facebook twitter